



履修証明プログラム

プログラム名称	Family Reunification Program(家族再統合支援プログラム)
実施体制	<p>プログラム責任者:保健福祉学部 保健福祉学科 人間福祉学コース 准教授 大下 由美</p> <p>プログラム責任者を代表として,外部講師(本学大学院修了生で児童家族支援に関与している専門職),博士前期・後期課程の学生で実施する。</p> <p>公開講座は,プログラム責任者を中心として,大学院博士前期・後期課程の学生を構成員として開講する。学部授業の短縮版(講義編)については,プログラム責任者を中心として,大学院博士後期課程の学生(社会人)と協働して,プログラムを展開する。事例に基づく演習(スーパービジョン)は,プログラム責任者を中心として行う。</p> <p>証明書交付に必要な体制として,出欠の管理およびレポート提出を,外部講師を含む講師陣で評価する。</p>
講座の目的	問題を抱えた家族が,機能的な家族になっていく過程を支援するために,専門家に求められる基礎的な知識と技術の修得と実践力の向上
受講期間	令和4年7月~令和5年6月【全15回・総時間数 60 時間】
対象者・受講資格	<p>以下の①及び②の条件を満たす者</p> <p>① 高等学校を卒業した者,またはこれと同等以上の学力を有する者</p> <p>② 児童福祉にかかわる公的機関,福祉施設および事業所等(児童養護施設,子ども家庭センター,市役所等の子ども家庭課,地域の子育て支援・相談センター等の職員)で,家族再統合支援(親子間のコミュニケーション支援)に従事している,あるいは関心を持っている実践家</p>
募集人数	5名(申込多数の場合は抽選)
会場	県立広島大学 三原キャンパス:三原市学園町1番1号 広島キャンパス:広島市南区宇品東一丁目1番71号
修了要件	令和4年7月~令和5年6月までの間で,「公開講座」,「家族の問題の評定と介入に関する知識と技術」,「事例に基づく演習」の3つの小プログラムのそれぞれで,3分の2以上の回数の出席があること。かつ,レポート提出と,受講者自身の事例でのスーパービジョンを1回以上は受けていること。
受講料	25,600円(税込) (1日単位の受講はできません。納入後の受講料は,いかなる理由においても返還しません。)

<p>申込方法</p>	<p>下記申込フォームよりお申し込みください。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/ques/questionnaire.php?openid=706</p>  <p>申込フォーム入力後、以下①～③の3点を、書類郵送先へお送りください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①【本学様式】履修証明プログラム履修許可願 ②【本学様式】履歴書 ③受講資格を証明するもの(最終卒業学校の卒業証明書等/写し可) <p>様式のダウンロードは下記ホームページからも可能です。 https://www.pu-hiroshima.ac.jp/site/rishu-shoumei/program2022mihara01.html</p>  <p>必要書類の本学への到着をもって受講申し込みを受理します。 申し込み後、メールで受講案内および振込案内をお送りします。パソコンからのメール (@pu-hiroshima.ac.jp) が受け取れるよう設定しておいてください。</p>
<p>申込締切</p>	<p>令和4年6月 27 日(月) ※書類の郵送は締切日当日消印有効</p>
<p>個人情報の取扱い</p>	<p>申込および受講にあたりご提供いただいた個人情報は、本プログラムの運営及び三原地域連携センターの事業に関する事以外目的には使用しません。</p>
<p>問い合わせ 書類郵送先</p>	<p>県立広島大学 三原地域連携センター 〒723-0053 三原市学園町1番1号 電話 0848-60-1120 (平日 9:00~17:00) FAX 0848-60-1134 メール mrenkei@pu-hiroshima.ac.jp</p>

【プログラム】

回	日程(予定)	テーマ・内容詳細
第1回	令和4年7月10日(日) 10:00~15:00 会場:三原キャンパス 4502-4507	家族支援の実践実技講座1 『家族支援のための基礎理論』
		家族をシステムとして捉える見方, その変化を引き起こす原理について学びます。家族間で生じる問題は, 構成員間のコミュニケーション過程で生成される規則に基づいて構成された現実と捉えます。そのため, 日常のコミュニケーション過程で生成される規則の変容が, 解決につながります。関係者相互のやり取りを, 解決探求型のやり取りに変容していく支援の基礎理論を学びます。
第2回	令和4年7月17日(日) 10:00~15:00 会場:三原キャンパス 4502-4507	家族支援の実践実技講座2 『家族支援のための変容技法論』
		1 回目の基礎理論の復習を行います。その上で, 具体的な家族システムの問題の評定方法と変容計画について, 困難事例を取り上げて検討します。単純な問題生成パターンを仮説立て, その変容を体験的に学びます。支援過程で用いる循環的質問法の使用についても, 従来の技法との使用法の違いについても, 受講者によるロールプレイを通して, 理解を深めます。
第3回	令和4年7月24日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413,2414, 2451	家族支援の実践実技講座3 『家族支援の実際(事例検討)』
		対人関係をシステムで捉える視点の復習に加え, システム内で生じている悪循環過程を変容する実際を学びます。参加者からの事例提供を含め, 困難事例を取り上げ, 単純な問題の評定フレーム, それに基づく介入計画, そして変化を生成する介入過程での技法使用の実際について学習します。
第4回	令和4年7月31日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族支援の実践実技講座4 『家族支援の実際(ロールプレイ)』
		1回目~3回目までの内容の総復習を行います。特に循環的質問法の使用の実際について, 体験的学習を中心に行います。受講者の方の実践事例, または仮想事例を用いて, 変容計画の立案, そしてその計画に基づく循環的質問法を用いた面接のロールプレイを通して, 理論と実践の統合的理解を深めます。
第5回	令和4年8月28日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 1
		家族構成員間の問題を, 家族システムの特徴として見ていく基本的な視点を復習する。
第6回	令和4年9月25日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 2
		意味の重層構造論を用いて, 問題場面が選択された行為群は, それらを束ねて構成される意味的世界と連動していることを説明し, 問題場面の多様な構成について理解を深める。

第7回	令和4年10月16日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 1278	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 3
		問題場面の变化の地平を開くためのトラッキング技法を学ぶ。2者間でのやり取りの記述を基本形として学ぶ。
第8回	令和4年11月27日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 1278	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 4
		一つのサブシステム(2者間)における变化を、家族システム全体の変化へつなげていく課題設定と循環的質問法の使用方法について学ぶ。
第9回	令和4年12月25日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 1278	家族の問題の評定と介入に関する知識と技術 5
		家族にとっての問題場面をトラッキングして、収集したデータと、それへの介入法と連動して生じた場面のデータを用いて、臨床活動の効果を測定する方法を学ぶ
第10回	令和5年1月27日(金) 10:00~15:00 会場:三原キャンパス 4502-4507	事例に基づく演習1
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(評定のための質問技術を実践事例の逐語で練習)
第11回	令和5年2月26日(日) 10:00~15:00 会場:三原キャンパス 4502-4507	事例に基づく演習 2
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(問題場面のトラッキング技術を実践事例の逐語で練習)
第12回	令和5年3月26日(日) 10:00~15:00 会場:三原キャンパス 4502-4507	事例に基づく演習 3
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(解決方法を浮上させるための差異化の技法1:実践事例の逐語で練習)
第13回	令和5年4月23日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	事例に基づく演習 4
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(解決方法を浮上させるための差異化の技法2:実践事例の逐語で練習)
第14回	令和5年5月28日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	事例に基づく演習 5
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(課題設定とリフレクションのための技法:実践事例の逐語で練習)
第15回	令和5年6月25日(日) 10:00~15:00 会場:広島キャンパス 2413, 2414, 2451	事例に基づく演習 6
		受講者の事例へのスーパービジョンと面接技術の演習(課題実践の記述と効果測定のための技法:実践事例の逐語で練習)